

ラウンジ計画

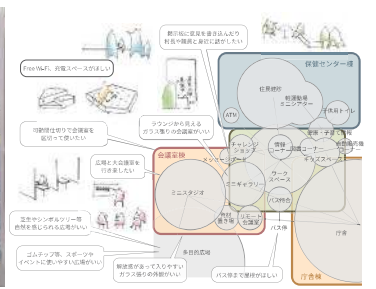
- ・住民健診や期日前投票時の庁舎・保健福祉センター・会議室機能の重ね使いを想定し、ラウンジは建物中心に配置します。
- ・ラウンジにはバスの待合所、キッズスペース、情報コーナー、交流スペースを設けます。ゾーニングにはワークショップにて抽出した村民の意見も参考にすることで、村民の多様な活動を想定します。
- ・吹抜や階段により一体的な空間とし、庁舎や保健福祉センター、議会など施設全体をつなぎます。
- ・閉庁時や夜間でも利用できるように、庁舎棟から独立した出入口を設けます。
- ・スペースを活動の規模に合わせた大きさに区切って使えるカーテン（間仕切り）や将来のカウンター設置を想定した給排水設備を設け、様々な使われ方に対応できる設えとします。



ワークショップの風景



ワークショップで出された意見とその抽出イメージ



休憩スペース

整形な形状にて広さを確保したラウンジは、カーテンや什器を収納すれば、開けた十分な空間とすることができます。
乳幼児健診や住民健診にまち列をつくる際の休憩場所や待合としても有効に利用できます。

ガラス張りの小会議室

ガラス張りすることでラウンジから活動を感じられる会議室とします。

情報スペース - 可動型 -

必要に応じて可動式の掲示板等の什器を追加することで、レイアウトを変更して様々な使われ方に対応できます。

引用元（中央）_<https://www.kamisu-arena.com/>
（右図）_<https://www.uchida.co.jp/education/catalog/efacility26/#target>

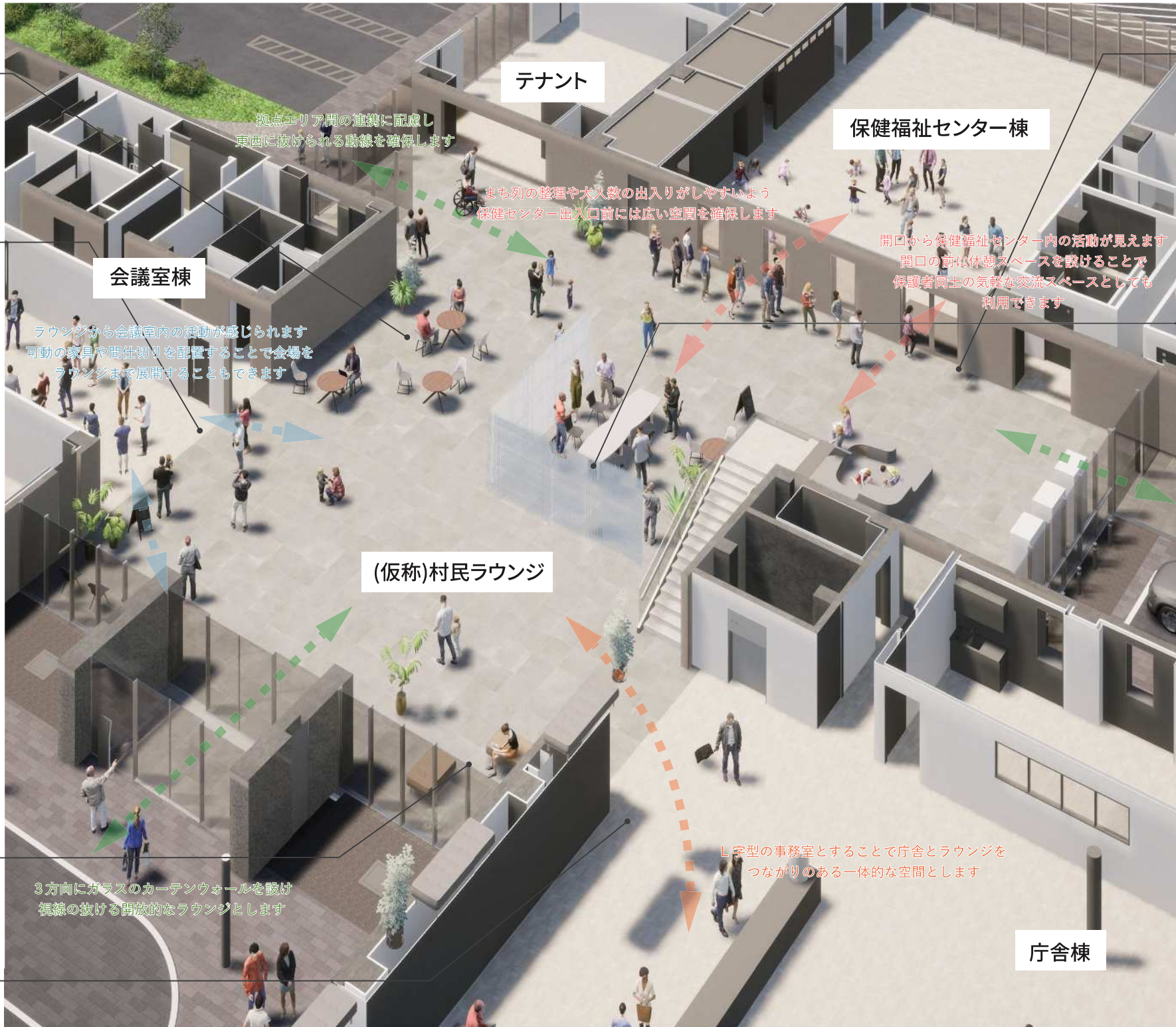


バス待合

デジタルサイネージを生かし、到着まで室内でバスを待てるスペースを設けます。

情報スペース - 常設型 -

庁舎側、バス待合近くの壁にデジタルサイネージを設置し、情報コーナーを設けます。



キッズスペース

キッズスペースの間仕切りは内側を本棚や収納に利用でき、上部はベンチとして利用できます。

引用元 _<https://www.uchida.co.jp/education/catalog/efacility26/#target>

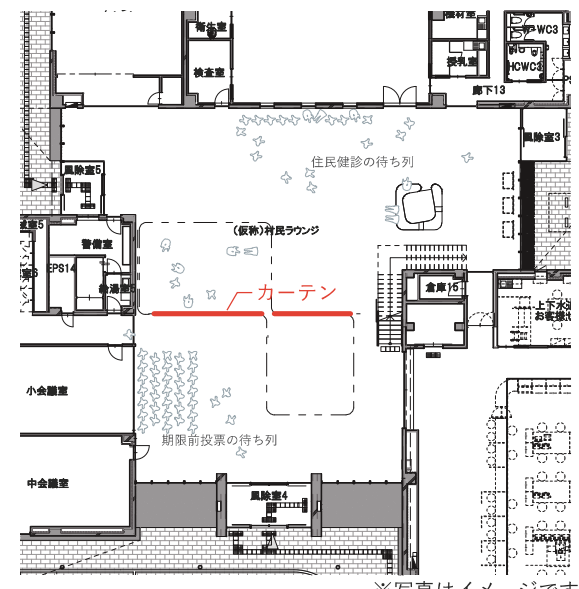


交流スペース

ラウンジをやわらかく仕切るカーテンを設け、中会議室程度の大きさをつくる、展示に利用する等、多様な活動ができる交流スペースを計画します。
広い空間を分断しないよう半透明の素材とすることで、通常時はラウンジ全体を開放的に利用でき、住民健診や期日前投票時にはまち列を整理する場へ、機能の転換ができます。（下図）



引用元（左上図）_https://www.japandesign.ne.jp/kiriyama/185_yoko_ando/



※写真はイメージです。